

ぶどうの樹 サポーターズ通信

Vol.6

2021 Spring & Summer

発行
同志社女子大学募金事務局
(総務部総務課社会連携係内)

このニューズレターは、ぶどうの樹サポーターズ会員（寄付をいただいた方）を対象とする会報誌です。
年2回、本学の取組みや学生の活動、募金に関する情報等についてお知らせいたします。

CONTENTS

- 02 ご挨拶／2021年度募金事業について
- 03 VOICE [教員インタビュー] ～これからの消費文化の可能性～
ぶどうの樹TOPICS
- 04 コロナ禍の学生の活動をクローズアップ！
- 05 “ぶどうの樹”奨学金支給を開始
- 06 Information
- 07 募金事業実績のご報告
- 08 ぶどうの樹コラム



ご挨拶

昨年からはまった新型コロナウイルス感染症の拡大は、私たちの社会生活すべてに大きな影響を与えることとなりました。皆様も環境の変化に戸惑い、時に物心両面において大きな負荷を強いられたことと存じます。

同志社女子大学ではこの間、様々な感染症対策を講じてまいりました。昨年6月以降は徐々にその措置を緩和し、秋学期からは対面式授業を再開しました。本学では幸いにも、大学内で集団クラスターが発生することもなく、卒業式や入学式、シェイクスピアプロダクションやEVE(大学祭)なども、それぞれに工夫を凝らし、規模を縮小しながらも開催することができました。困難な状況においても学びの灯を消さない姿勢は本学の創立以来、受け継がれてきたものです。

今年度に入り再び京都府に緊急事態宣言が発出され、やむをえず4月末から再び遠隔授業を実施するなど、依然として予断を許さない状況が続いています。このような困難な状況においても教育研究の質を維持し、学生が安心して大学生活を送ることのできるよう、引き続き教職員一同取り組んでまいります。

また、本学では現在、学生一人ひとりが高い意識をもって感染予防対策を実践し「美しい行いをする人」になることをめざした「Be Handsomeキャンペーン(※)」を推進しております。このような時代だからこそ、キリスト教主義、国際主義、リベラル・アーツの三つの教育理念に立ち返り、建学の精神に根ざした教育活動を展開してまいります。

さて、当募金事業は開始から4年目を迎えることができました。これまでに1500件を超えるご寄付を賜りました。現在は直接皆様とお目にかかることもできませんが、サポーターの皆様お一人おひとりのお気持ちは、確かに私どもに届いております。そして皆様からのご支援により、“ぶどうの樹”奨学金の支給など、学生の支援や教育研究環境の充実を図ることができておりますこと、改めて御礼申し上げます。

ご支援いただくサポーターの皆様と私たちがぶどうの樹の蔓・枝のように連なり、支えあう関係を築いていきたいという思いはこれからも変わることはありません。

引き続き皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

学長 飯田 毅



※ Be Handsomeキャンペーン
創立者新島襄が、妻八重を「美しい行いをする人=She is person who does handsome」と評したことにちなみ、学生一人ひとりが新しい生活様式を積極的に取り入れ、様々な感染防止対策を実践していくこと、またそのような意識をもって行動することをめざし始めた啓発活動。

2021年度募金事業について

当募金事業は卒業生、学生ご父母の皆様をはじめ、企業・団体、教職員、篤志家など多くの方のご支援に支えられております。今年度も継続して募集を行いますので皆様のご協力をお願い申し上げます。

- 募金名称 同志社女子大学サポーターズ募金“ぶどうの樹”
- 募集期間 2021年4月1日～2022年3月31日(1年間)
(2018年度より毎年継続して募集しております)
- お申込金額
 - 個人…1万円 ●法人・団体…任意 ●教職員…1万円
(一口以上、一口未満のご寄付もありがたく頂戴します)
- 税制上の優遇措置
「税額控除」又は「所得控除」の優遇措置がございます。
お住まいの地域によっては住民税控除の適用がございます。

